

特別企画：九州・沖縄地区の外食産業売上高ランキング（2019年度）

2019 年度の売上高合計は前年度比 4.5%増

～外食産業、飲食店の倒産が 2000 年度以降で最高件数に～

はじめに

一般社団法人日本フードサービス協会が 2020 年 8 月に発表した 2019 年（令和元年）の外食産業市場規模（料理品小売業を含む広義）では、一人当たりの外食支出の増加や訪日外国人の増加、などにより前年比 1.4%増加し、33 兆 3184 億円の推計となった。しかし、昨今、新型コロナウイルスの影響で訪日外国人の急減や宴会の自粛等が飲食業界に大打撃を与えている。2019 年度の調査では緊急事態宣言前の数値になるため、同宣言の発出後、単月の売り上げが急減した企業も多いことを考えると宣言前後でどれ程企業に影響を及ぼしているかを比較するうえで今回のランキングはひとつの指標になるだろう。

帝国データバンク福岡支店では、企業概要データベース「COSMOS 2」（約 147 万社収録）から、九州・沖縄地区（以下、九州）に本社を置き、外食事業を主業とする企業を抽出。売上高上位 50 社の 2019 年度（2019 年 4 月期～2020 年 3 月期）の売上高や税引き後利益、その伸び率などをまとめた（売上高には一部推定を含む）。

なお、本調査でいう「外食」には、レストランなど飲食店における「飲食」事業をはじめ、持ち帰り弁当や宅配サービスなど料理品小売業に分類される「中食」事業、病院・福祉施設などにおける「給食」事業も含めて集計した。

本調査は 2020 年 3 月（2018 年度調査）に続く 20 回目。

調査結果（要旨）

1. 2019 年度の売上高ランキングは、持ち帰り弁当店「ほっともっと」や定食店「やよい軒」を展開する（株）プレナス（東証一部、福岡市）が 17 年連続のトップ
2. 2019 年度の売上高伸び率ランキングは（株）タケノ（福岡市）がトップ。以下、（株）ラブ（福岡市）、（株）JIS（福岡市）と続いた
3. 売上高上位 50 社の 2019 年度の合計売上高は 4879 億円。前回調査（2018 年度）に比べて 4.5%増と、合計売上高は 2 年ぶりに増加した
4. 前年度売上高との比較が可能な 45 社のうち「増収」企業は 24 社（構成比 53.3%）となり、構成比は前年度（62.5%）を 9.2pt 下回った。また、税引き後利益が「赤字」となった企業が 11 社（構成比 24.4%）、「減益」企業も 13 社（同 28.9%）にのぼるなど、損益が悪化した企業が目立った
5. 倒産（法的整理のみ、負債 1000 万円以上）件数をみると、2019 年度は前年度比 52.6%増の 58 件（20 件増）だった

1. 売上高ランキング [50位までのランキング表は末尾掲載]

2019年度の売上高ランキングでトップになったのは、持ち帰り弁当店「ほっともっと」や定食店「やよい軒」を展開する**(株)プレナス（東証一部、福岡市）**。「ほっともっと」事業は、売り上げを伸ばしても人件費等の店舗運営コストの上昇により、加盟店への移管が見込めない直営店190店舗の退店を行ったことで収益の改善に注力した。結果、新規出店7店、退店228店と大幅な店舗数減により後者が上回ったことで売り上げが減少した。「やよい軒」事業では、開業時にプレナスが建物や設備を準備して加盟者の開業資金の負担やリスクを抑えたフランチャイズ制度「ユニットFC制度」で新規オーナーの獲得を積極的に行うなど、FC化の推進に取り組んだ。しかし、既存店の売り上げが減少したことで同事業の売り上げは減少した。上記の要因から、総売上高は前期比3.4%減の1380億2300万円となった。

九州・沖縄地区 外食産業売上高ランキング上位10社(2019年度)

順位	前年度順位	商号	所在地	事業形態	主な「店舗名」、事業内容	決算月	売上高 (百万円)	前年度比 売上高 伸び率
1	1	(株)プレナス	福岡市	中食	持ち帰り弁当「ほっともっと」、定食店「やよい軒」	2	138,023	▲3.4%
2	2	注1 ジョイフルグループ各社合計	大分市	飲食	ファミリーレストラン「Joyful」（ジョイフル）	6	62,651	—
3	3	(株)一蘭	福岡市	飲食	ラーメン店「一蘭」	12	23,000	13.5%
4	5	(株)ヒライ	熊本市	中食	持ち帰り弁当店「おんとうのヒライ」、食堂「まんま・家」	5	16,527	2.6%
5	6	(株)力の源カンパニー	福岡市	飲食	ラーメン店「博多一風堂」、居酒屋「行集談 四郎商店」「五行」	3	15,921	3.1%
6	7	(株)ウエスト	福岡市	飲食	うどん・そば店、焼肉店「WEST（ウエスト）」	2	15,531	1.5%
7	8	東洋食品(株)	北九州市	中食	量販店内総菜店「味処 花咲」「四季の創菜旬」「花小町」「味花」	11	13,974	▲1.9%
8	9	栄食メディックス(株)	福岡市	給食	施設内の飲食サービス業務の受託運営	9	13,200	▲2.9%
9	10	(株)イーティーズ	福岡県鞍手町	中食	量販店内での惣菜・弁当小売	2	11,846	11.0%
10	11	J R九州ファーストフーズ(株)	福岡市	飲食	「ケンタッキーフライドチキン」「ミスタードーナツ」「エス・エス・エス」「タピオカ」各FC	3	10,337	15.9%

〔売上高には推定値を含む〕

注1 (株)ジョイフルは、2016年1月に直営店舗の事業部門を11の地域子会社に分割譲渡、持ち株会社へ移行した。売上高は、(株)ジョイフルおよび各地域子会社の直営店販売実績合計(有価証券報告書記載)。なお、前期に決算月を12月から6月に変更したため、前年度比売上高伸び率は算出できない。

2位は、ファミリーレストラン「Joyfull」を展開する**(株)ジョイフル（福証、大分市）グループ**。前期が6カ月の変則決算。2019年6月期は626億5100万円となった。期中に、来店毎にスタンプが貯まり、クーポン等が利用できるスマートフォン専用無料アプリ「ジョイフルアプリ」を導入した。

3位は、**(株)一蘭（福岡市）**。ラーメン店事業では、前期に新規出店した大型店舗「那覇国際通り店」など5店舗が通期にわたって売上寄与したことや、とんこつ不使用ラーメン専門店などを新規出店したことで外国人観光客を中心に注目を集め増収となった。土産品の販売についてもこれまで福岡県限定販売であった「一蘭ラーメンちぢれ麺」を全国解禁したことで、駅、空港に加えドン・キホーテ、イオン店など既存取扱店舗での販売が増えたこともあり増収した。上記の結果、前期比13.5%増の230億円となった。

2. 売上高伸び率ランキング

2019年度の売上高伸び率ランキングでトップになったのは、売上高ランキング37位の（株）タケノ（福岡市）が入った。北部九州地区を中心に「竹乃屋」の屋号で居酒屋を運営するほか、「博多ビストロタケノヤ」、「天ぷら定食えびす食堂」などを手がけている。主力である「竹乃屋」が福岡市や熊本市で新規出店したほか、既存店舗の集客も堅調に推移したことで、前期比23.2%増となった。

2位には、売上高ランキング42位の（株）ラブ（福岡市）が入った。もつ鍋料理専門店「博多もつ鍋おおやま」を運営している。福岡県をロケ地としたTV番組への出演などにより、県外店舗の知名度が上がり、新規顧客及びリピーターが増加した。福岡県内の店舗も旅行者などによる国内外からの来店数が増えたことで前期比20.5%増となった。

3位は、前回伸び率ランキングでトップだった（株）J I S（福岡市、同33位）。社交場をコンセプトにした飲食店「J I S」を運営している。前期オープンした「UMEDA」が通期にわたって売り上げに寄与し、相乗効果で「NAMBA」も好調さを維持したほか、その他店舗も前期並みの売り上げを維持できた。結果、前期比18.3%増となった。

九州・沖縄地区 外食産業売上高伸び率ランキング上位10社(2019年度)

伸び率順位	全体順位	商号	所在地	事業形態	主な「店舗名」、事業内容	決算月	売上高 (百万円)	前年度比 売上高 伸び率
1	37	(株)タケノ	福岡市	飲食	居酒屋「竹乃屋」「博多ビストロタケノヤ」	3	3,214	23.2%
2	42	(株)ラブ	福岡市	飲食	もつ鍋店「おおやま」	8	3,014	20.5%
3	33	(株)J I S	福岡市	飲食	レストラン&バー「JIS」	9	3,344	18.3%
4	32	(株)Be bloom	福岡市	飲食	居酒屋「あや鶏」「かこみ庵」	11	3,366	15.9%
5	10	J R九州ファーストフーズ(株)	福岡市	飲食	「ケンタッキーフライドチキン」「ミスタードーナツ」「モスバーガー」「シアトルズ・ヘストコーヒ」各FC	3	10,337	15.9%
6	50	(株)マスコ	宮崎市	飲食	居酒屋「恵屋」「炎の舞らうい」	6	2,650	13.9%
7	3	(株)一蘭	福岡市	飲食	ラーメン店「一蘭」	12	23,000	13.5%
8	22	(株)ポールスター	福岡市	飲食	「ケンタッキーフライドチキン」「サブウェイ」FC	6	4,252	11.2%
9	9	(株)イーティーズ	福岡県鞍手町	中食	量販店内での惣菜・弁当小売	2	11,846	11.0%
10	47	(有)ホット・ショット	熊本市	飲食	「マクドナルド」FC	12	2,707	10.9%

〔売上高には推定値を含む〕

3. 売上高上位50社の合計売上高推移

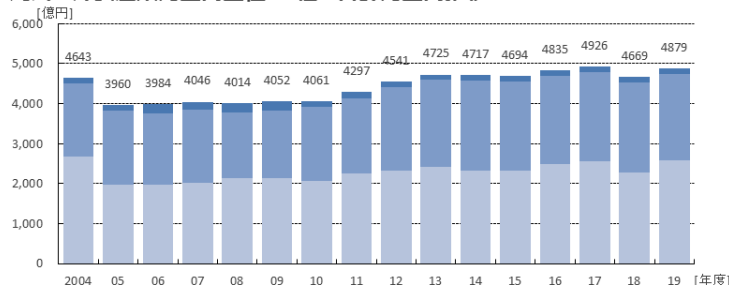
九州の2019年度の外食産業売上高合計（売上高上位50社）は前年度比4.5%増の4879億円と、合計売上高は2年ぶりに増加した。

業態別にみると、「飲食」が前年度比13.7%増の2580億6700万円（構成比52.9%）と2年ぶりに増加した。増収要因としては、前期に出店した店舗が通期を通して売り上げに寄与したことや、期中に新店舗を増やしたといった企業が多かった。

「中食」は同4.3%減の2166億3300万円（同44.4%）と、3年ぶりに減少した。売上高ランキングトップのプレナスの売上減が要因のひとつとしてあげられる。プレナスを除いた「中食」の合計売上高も前年度比5.8%減の786億1000万円と、2年連続で前年度を下回った。プレナスを除く「中食」の減収要因は、出店しているスーパーの競合激化などによる閉店や再編成の影響で撤退を余儀なくされる企業の減収が見受けられた。

一方、ディスカウントストア、ドラッグストアなどに出店している企業は同ストアの新規出店にともない自社の販路も拡大したといった企業が多く、「中食」は、出店する先の経営状況に左右されやすいため明暗が分かれる結果となった。

■九州の外食産業売上高上位50社の合計売上高推移



■売上高上位50社の事業形態別売上高推移

		飲食	中食	給食	合計
2017年度	合計売上高	255,671	223,351	13,681	492,703
	社数	35	14	1	50
2018年度	合計売上高	227,028	226,294	13,600	466,922
	社数	36	13	1	50
2019年度	合計売上高	258,067	216,633	13,200	487,900
	社数	36	13	1	50

※ 集計企業は、毎年入れ替わりがある

(単位 上段：百万円、下段：社)

■「プレナス」を除く49社の合計売上高の推移

(単位：百万円)

		50社 合計売上高 (A)	「中食」 合計売上高 (B)	プレナス 売上高 (C)	49社 合計売上高 (A-C)	プレナス除く 「中食」 合計売上高 (B-C)
2017年度	合計売上高	492,703	223,351	136,584	356,119	86,767
	前年度比伸び率	1.9%	1.1%	▲1.2%	3.1%	5.0%
2018年度	合計売上高	466,922	226,294	142,843	324,079	83,451
	前年度比伸び率	▲5.2%	1.3%	4.6%	▲9.0%	▲3.8%
2019年度	合計売上高	487,900	216,633	138,023	349,877	78,610
	前年度比伸び率	4.5%	▲4.3%	▲3.4%	8.0%	▲5.8%

4. 売上高・損益の推移

売上高上位 50 社のうち、前年度との比較可能な 45 社の売り上げ動向を見ると、「増収」企業は前年度比 6 社減の 24 社となった。一方、減収企業は同 3 社増の 21 社。業態別に増収企業をみると、「飲食」が前年度比 4 社減の 19 社、「中食」は同 2 社減の 5 社だった。

利益が減少した企業（「減益」「赤字転落」「赤字拡大」の合計）が前年度比 4 社減の 23 社（構成比 51.1%）と半数を超えた点は注目すべきポイントだ。野菜をはじめとした食材価格の高止まりも要因の一つだが、人手不足による人件費の高騰や従業員の待遇改善、アルバイトの時給アップといった人件費負担の増加が収益を圧迫している。

■売上高上位50社の売上高／損益状況

	黒字			赤字			()内は前年度	
	増益	黒字転換	減益	赤字転落	赤字縮小	赤字拡大	未詳	合計
増収	10 (14)	1 (1)	5 (10)	5 (4)	0 (0)	1 (0)	2 (1)	24 (30)
減収	4 (2)	0 (0)	8 (9)	2 (1)	1 (0)	2 (3)	4 (3)	21 (18)
合計	14 (16)	1 (1)	13 (19)	7 (5)	1 (0)	3 (3)	6 (4)	45 (48)

※ 2018年度は前年度との比較が困難な2社を除く48社、2019年度は同様に3社を除く47社を分析した

■飲食事業者の売上高／損益状況

	黒字			赤字			()内は前年度	
	増益	黒字転換	減益	赤字転落	赤字縮小	赤字拡大	未詳	合計
増収	8 (12)	1 (1)	3 (7)	5 (2)	0 (0)	1 (0)	1 (1)	19 (23)
減収	2 (1)	0 (0)	5 (3)	2 (1)	1 (0)	1 (3)	3 (3)	14 (11)
合計	10 (13)	1 (1)	8 (10)	7 (3)	1 (0)	2 (3)	4 (4)	33 (34)

※ 2018年度は前年度との比較が困難な2社を除く34社、2019年度は同様に2社を除く35社を分析した

■中食事業者の売上高／損益状況

	黒字			赤字			()内は前年度	
	増益	黒字転換	減益	赤字転落	赤字縮小	赤字拡大	未詳	合計
増収	2 (2)	0 (0)	2 (3)	0 (2)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	5 (7)
減収	2 (1)	0 (0)	2 (5)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	6 (6)
合計	4 (3)	0 (0)	4 (8)	0 (2)	0 (0)	1 (0)	2 (0)	11 (13)

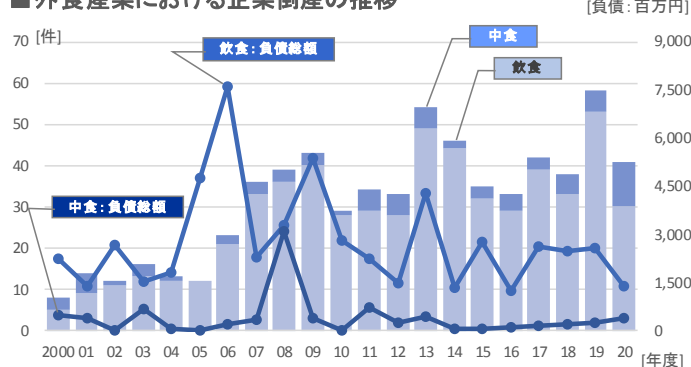
※ 2018年度は13社、2019年度は前年度との比較が困難な2社を除く11社を分析した

5. 倒産動向

九州における外食産業の倒産（法的整理のみ、負債 1000 万円以上）件数をみると、2019 年度は前年度比 52.6%増（20 社増）の 58 件だった。外食産業と内訳別の飲食店（53 件、同 60.6%増）とともに 2000 年度以降の最多件数を更新した。

負債総額は同 4.2%増の 28 億 800 万円。負債額が 3 億円を上回ったのは、（株）沖縄トランジット・ソリッドオフィス（沖縄県北谷町、2019 年 11 月破産手続き開始決定、負債約 5 億円）の 1 件のみで、同 1 億円未満の倒産が 50 件（構成比 86.2%）と小規模倒産が中心となった。

■外食産業における企業倒産の推移



2020年度は2020年4月から2020年10月までの7カ月間
倒産件数は計41件(うち「飲食」30件、「中食」11件)

まとめ

売上高上位 50 社の合計売上高は 2 年ぶりに増加した。増収企業の要因として「飲食」は、前期と今期で店舗数を増やしたことで売り上げ増加につながった企業が多かった。「中食」では、安価な品揃えでスーパーなどの競合となっているディスカウントストアやドラッグストアが出店攻勢を行ったことにもとない販路拡大したことで増収したとする企業が多かった。

しかし、新型コロナウイルスの影響で「飲食」「中食」の明暗を分けることとなったのは緊急事態宣言が発出されて以降のことである。「飲食」は休業や時間短縮を余儀なくされ、売り上げが急減した企業が多く、「中食」は“巣ごもり消費”による需要増加で売り上げを伸ばす企業が多かった。「飲食」のなかでも、従来から宅配サービスや持ち帰りサービスを行っていた企業は“巣ごもり消費”の恩恵を受けており、「中食」のなかでもデリバリーを行わず、持ち帰りサービスのみを行う企業や会議、講演会などの弁当や仕出しを製造・販売していた企業は減収を強いられている。外食産業のなかでも新型コロナウイルスによる善し悪しの影響が細かく別れている可能性がある。

2019 年度の合計売上高は増加に転じたものの、倒産件数は 2000 年以降最高件数（58 件）となり、「飲食」（53 件）も同様となった。飲食店における負債 5000 万円以下の倒産は 42 件（構成比 79.2%）と小規模倒産が主体となっている。大手企業では新規出店や集客力を上げるためのメニュー改訂、フェア等を積極的に行えるが、小規模企業では抜本的な改善を行うには資金面で乏しく、苦戦を強いられていることが考えられる。近時は新型コロナウイルスの影響で大手外食チェーンも不採算店舗を数百店規模で退店するなど経営環境の悪化が懸念される。小規模企業はさらに苦戦を強いられていることが予想され、倒産までには至らずとも事業継続を断念する企業は増えるだろう。加えて第 3 波が飲食店の業績回復を阻む形となっている。既に高水準で推移している 2020 年の外食産業の倒産件数も「新型コロナウイルス関連倒産」が増えれば最多記録を更新する可能性があるため、注視したい。

【内容に関する問い合わせ先】

株式会社帝国データバンク福岡支店情報部 担当： はやし 晨 智海（分析）／橋谷祐樹（集計）
TEL：092-738-7779 FAX：092-738-8687

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および無断引用を固く禁じます。

九州・沖縄地区 外食産業売上高ランキング上位11～50社(2019年度)

順位	前年度順位	商号	所在地	事業形態	主な「店舗名」、事業内容	決算月	売上高 (百万円)	前年度比 売上高 伸び率
11	4	梅の花サービス(西日本・東日本)	福岡県久留米市	飲食	飲食店「湯葉と豆腐の店 梅の花」	4	9,981	-
12	13	(株)庄屋フードシステム	長崎県佐世保市	飲食	和食レストラン「庄屋」「雑魚屋」、天ぷら専門店「那がむら」	3	8,007	▲1.1%
13	14	(株)むすんでひらいて	福岡県鞍手町	中食	量販店内での総菜・弁当小売	2	7,455	1.9%
14	15	J R九州フードサービス(株)	福岡市	飲食	創作料理店「うまや」、居食店「驛亭」、駅構内レストラン	3	6,746	▲5.0%
15	16	九州産交リテール(株)	熊本市	飲食	高速道路SAでのレストラン経営、熊本城桜の馬場城彩苑内レストラン	9	6,581	1.4%
16	18	(株)ジェイシーシー	沖縄県糸満市	飲食	和食・沖縄料理店「わだや」、沖縄地料理店「龍潭」「波照間」	5	6,058	2.0%
17	17	風月フーズ(株)	福岡市	飲食	高速道路SA・空港でのフードコート・レストラン経営、「グルメ風月」	12	5,985	▲0.7%
18	19	(株)イトスタイル	宮崎県小林市	飲食	「いきなりステーキ」「ポポーマーマ」「サーティワンアイスクリーム」「ピピン亭」各FC	2	5,847	2.5%
19	21	昭和フード(株)	佐賀市	飲食	「マクドナルド」FC	3	5,352	9.6%
20	20	九州惣菜(株)	北九州市	中食	量販店内総菜店「彩花」	9	4,834	▲1.4%
21	23	(株)寿福産業	鹿児島市	飲食	和食店「ふく福」、黒豚料理店「寿庵」、ラーメン店「十八番」、回転すし店「めっけもん」	3	4,300	▲4.4%
22	27	(株)ボールスター	福岡市	飲食	「カンタキ・フライド・チキン」「サア・ウェイ」FC	6	4,252	11.2%
23	12	(株)古市庵	福岡県久留米市	中食	持ち帰り寿司店「浪花古市庵」「おにぎり畑 晴れ晴れ」「おむすび紀行」	4	4,240	-
24	25	(株)鹿児島なべしま	鹿児島市	飲食	焼肉レストラン「焼肉なべしま」	5	4,170	3.1%
25	24	昭和食品(株)	北九州市	中食	量販店内総菜店「味菜」	12	3,904	▲7.0%
26	30	(株)アマージュ	福岡市	飲食	居酒屋「ぶあいそ」「北海道食市場 丸海屋」「博多黒鉄」	11	3,838	4.7%
27	26	エイ・アンド・ダブリュ沖縄(株)	沖縄県浦添市	飲食	ファーストフード店「A & W」、サーティワンアイスクリームFC	6	3,800	▲5.7%
28	22	(株)ブレンズ	沖縄県浦添市	中食	持ち帰り弁当店「はっともっと」、定食屋「やよい軒」FC	3	3,790	▲21.0%
29	35	(株)十徳	熊本市	飲食	居酒屋「十徳や」「さかな市場」「寿里庵」	3	3,500	-
30	28	(株)坂本	熊本市	飲食	回転すし店「九州すし市場」「ばんばん寿し」、焼肉店「えんや」	7	3,396	▲10.3%
31	32	(株)フェリックス	福岡市	飲食	居酒屋「とめ手羽」、ターツカフェ「TITO」	3	3,380	▲2.0%
32	42	(株)Be bloom	福岡市	飲食	居酒屋「あや鶏」「かこみ庵」	11	3,366	15.9%
33	43	(株)J I S	福岡市	飲食	レストラン&バー「JIS」	9	3,344	18.3%
34	31	昭産商事(株)	北九州市	中食	量販店内総菜店「味の四季彩」	2	3,320	▲6.6%
35	33	(株)プレナス・エムケイ	福岡市	飲食	レストラン「しゃぶしゃぶダイニングMK」	2	3,308	▲3.8%

(売上高には推定値を含む)

注2 梅の花グループは決算月を9月から4月に変更したため、前年度比売上高伸び率は算出できない。

注3 (株)十徳は、2018年6月に(株)ジェイアンドジェイから事業を譲受し、再開。2018年度の業績は実質9カ月間のため、前年度伸び率は算出できない。

次ページに続く

順位	前年度順位	商号	所在地	事業形態	主な「店舗名」、事業内容	決算月	売上高 (百万円)	前年度比 売上高 伸び率
36	36	(株)ハーバーハウス	福岡市	飲食	海鮮料理店「釣船茶屋ざうお」、定食・居酒屋「多幸橋本店」	9	3,231	▲0.1%
37	49	(株)タケノ	福岡市	飲食	居酒屋「竹乃屋」「博多ビストロタケノヤ」	3	3,214	23.2%
38	37	M i コーポレーション(株)	福岡市	飲食	お好み焼レストラン「どんどん亭」、ファーストフード店「どんどんまるや」	5	3,178	▲0.5%
39	39	(株)うちだ屋	福岡市	飲食	食堂「うちだ屋」「麵勝」、セルフうどん店「めん勝」	9	3,123	2.8%
40	34	(株)めいじん	大分市	飲食	回転すし店「寿司めいじん」、焼鳥専門店「鳥ざんまい」、天ぷら店「天風」	2	3,100	▲5.8%
41	29	(株)梅の花 p l u s	福岡県久留米市	中食	持ち帰り惣菜・弁当店「梅の花」	4	3,065	-
42	50	(株)ラブ	福岡市	飲食	もつ鍋店「おおよま」	8	3,014	20.5%
43	44	(株)イワタダイナース	福岡市	中食	宅配ピザ・お好み焼き店「ピザクック」	2	2,955	4.8%
44	38	(株)グラノ24K	福岡県遠賀郡	飲食	レストラン「野の葡萄」「花葡萄」「ぶどうの樹」	3	2,936	▲4.6%
45	45	(株)O・B・U Company	福岡県筑紫野市	飲食	居酒屋「松介」「博多ほたる」、焼肉店「龍王館」、ラーメン店「中る」	9	2,818	0.7%
46	41	(株)西鉄プラザ	福岡市	飲食	うどん店「やううどん」、「ト・トル・ヒーロー」 「ミスター・ナリ」各FC	3	2,745	▲6.3%
47	-	(有)ホット・ショット	熊本市	飲食	「マクドナルド」FC	12	2,707	10.9%
48	46	(株)唐十	北九州市	中食	からあげ惣菜や弁当店「唐十」	3	2,700	0.6%
48	-	(株)稚加桊	福岡市	飲食	博多料亭「稚加桊」	3	2,700	▲4.6%
50	-	(株)マスコ	宮崎市	飲食	居酒屋「恵屋」「炎の舞らくい」	6	2,650	13.9%

〔売上高には推定値を含む〕

〔前回順位に入っていない企業は前年度順位「-」としている〕

〔前年度比売上高伸び率を算出できない企業は「-」としている〕